

矢野 邦夫

浜松医療センター 副院長 兼 感染症内科部長 兼 衛生管理室長

視覚的抄録

CDCが週報(MMWR: Morbidity and Mortality Weekly Report)で視覚的抄録(Visual Abstracts)を公開している<sup>1)</sup>。この抄録を見るだけで全体像が理解できるので、紹介する。

■米国からのビーフおよびメキシコからのソフトチーズが関連したアジスロマイシンの感受性の低下した *Salmonella* Newport感染症のアウトブレイク-米国、2018-2019年

**MMWR** | **サルモネラ感染症を回避しよう**

**サルモネラは食中毒を引き起こします**

- 255人のアウトブレイクが発生しています。メキシコへの旅行後が43%です
- 牛肉とチーズが関係していました

**新しい耐性菌の発生が心配です**

- 重篤な感染症では抗菌薬が必要です
- 推奨される抗菌薬の一部は効果がないかもしれません

**サルモネラ感染症を避けましょう**

- 安全な内部温度になるまで牛肉を加熱しましょう。
- 生ミルクで作られたソフトチーズは避けましょう

Data from PulseNet and Salmonella Newport investigation as reported by Plumb et al, MMWR 2019. Report: bit.ly/CDCVA30

CS 28279-44

**WWW.CDC.GOV**

(Outbreak of *Salmonella* Newport Infections with Decreased Susceptibility to Azithromycin Linked to Beef Obtained in the United States and Soft Cheese Obtained in Mexico — United States, 2018-2019)  
August 23, 2019 / 68(33);713-717

■男性間性交渉者におけるHIVの曝露前予防の認識と使用の変化-20の都市圏、2014年および2017年

**MMWR | PrEP: HIVを終わらせる本質的な方法**

**曝露前予防 (PrEP: Pre-Exposure Prophylaxis)**

- HIVを予防する強力な方法です
- 毎日のPrEPは性交渉を避けてのHIVの危険性を大きく減少させます

**更なるPrEPの使用が必要です**

- PrEPはMSMの6~35%が使用しています
- 特に、黒人とヒスパニックのMSMではPrEPの使用は相当低いです

**医療従事者はHIVを終わらせることを援助できます**

- HIVの検査をします
- 患者のリスクを評価します
- 必要に応じて、PrEPを処方します
- CDCの情報を活用します

Footnote: Data from CDC's National HIV Behavioral Surveillance (NHBS) (20 cities) as reported in Finlayson et al. *MMWR* 2019. [bit.ly/CDCVA29](https://www.cdc.gov/hiv/pdf/nhsb/prep-cdc-hiv-prep-guidelines-2017.pdf)  
 \*PrEP clinical practice guidelines. <https://www.cdc.gov/hiv/pdf/nhsb/prep-cdc-hiv-prep-guidelines-2017.pdf>  
 \*\*Men who have sex with men  
 © 2019-2

WWW.CDC.GOV

MSM= Men Who Have Sex with Men (男性間性交渉者)

(Changes in HIV Preexposure Prophylaxis Awareness and Use Among Men Who Have Sex with Men- 20 Urban Areas, 2014 and 2017)  
 July 12, 2019 / 68(27);597-603

■HIV新規診断例の大多数を占める50の地方管轄区域と農村部にてHIVの不均衡な発症を認める7州におけるHIV検査、2016-2017年

**MMWR | HIVの検査をしよう**

**HIV感染者の7人中1人は自分が感染していることを知りません**

**更なるスクリーニングが必要です**

- ~60% 米国の成人の60%がHIV検査をしたことがありません
- ~70% 昨年は、HIVのリスクの高い人々の70%が検査しませんでした

**検査には数多くの方法があります。貴方が利用できる方法を見つけよう**

- すべての人々が少なくとも1回は検査すべきです
- リスクの高い人々は毎年検査をしましょう

検査場所を見つけるためや、HIV自己検査をオーダーするためにネットを!

移動クリニック 無料HIV検査

Footnote: Data from 2016-2017 Behavioral Risk Factor Surveillance System as published in Pitasi et al. *MMWR* 2019. [bit.ly/CDCVA28](https://www.cdc.gov/hiv/pdf/nhsb/prep-cdc-hiv-prep-guidelines-2017.pdf)  
 © 2019-2

WWW.CDC.GOV

( HIV Testing in 50 Local Jurisdictions Accounting for the Majority of New HIV Diagnoses and Seven States with Disproportionate Occurrence of HIV in Rural Areas, 2016-2017)  
 Weekly / June 28, 2019 / 68(25);561-567

■米国におけるマラリアのサーベイランス-米国、2016年

Centers for Disease Control and Prevention  
**MMWR** | **マラリアは飛行機に乗ってやって来る**

**マラリアは危険ですが、予防可能です**

- ・90カ国で流行しています
- ・致死的です
- ・蚊で拡散します

**米国でのマラリア症例数は過去40年で最大です**

マラリアに感染した米国人の94%が予防薬を服用していませんでした

**旅行について質問し、危険性を評価しましょう**

- ・予防薬を処方しましょう
- ・患者には下記を助言しましょう
  - ⇒すべての薬剤を飲み切りましょう
  - ⇒蚊に刺されないようにしましょう
  - ⇒発熱時には受診しましょう

2016 data from the integration of all NMSS and MNDOS cases, CDC reference laboratory reports, and CDC clinical consultations as published in Mace et al. MMWR 2019. bit.ly/CDCWA25  
05 202376-01

WWW.CDC.GOV

(Malaria Surveillance -United States, 2016)  
*Surveillance Summaries* / May 17, 2019 / 68(5);1-35

■正統なユダヤ人社会への持ち込み症例による麻疹のアウトブレイク-ニューヨーク州とニュージャージー州、2018-2019年

Centers for Disease Control and Prevention  
**MMWR** | **麻疹について考えよう!**

**米国での麻疹の殆どが過去25年以内に発生しています**

**麻疹**

- ・感染力が極めて強いです
- ・重篤な疾患を引き起こすことがあります

**ワクチン**

- ・麻疹を防ぐのに大変有効です
- ・安全です

**輸入症例がアウトブレイクを引き起こしています**

ニューヨーク州 (ニューヨーク市を除く) のアウトブレイク  
242症例

33症例  
ニュージャージー州のアウトブレイク

**患者のワクチン接種歴をチェックしましょう**

麻疹ワクチンが必要なのは誰でしょう?

- ・生後6ヶ月以上の国際旅行者
- ・生後12か月以上のすべての人々

\* Data collected as part of outbreak investigations by NYSDOH, RCDOH, NJDOH, Orange County and Ocean County (NJ) Health Departments as reported in McDonald et al. MMWR, 2019, bit.ly/CDCVA26 \* October 1, 2018—April 30, 2019 \*\* October 17, 2018—November 30, 2018 \* See ACIP recommendations for contraindications

WWW.CDC.GOV

05 202376-01

(Measles Outbreaks from Imported Cases in Orthodox Jewish Communities — New York and New Jersey, 2018–2019)  
May 17, 2019 / 68(19);444-445

■男性間性交渉者が参加するコミュニティの場における性器外クラミジアおよび淋菌-米国の5都市、2017年

**MMWR** | MSMとSTD:生殖器以外も検査をしよう

**咽頭と直腸のSTD**

- MSMはリスクが高いです
- 症状がみられないことが多いです
- スクリーニングにて検出できます
- HIVの危険性を増大します

**クラミジアと淋菌のスクリーニングをしたMSMのうち**

- 8人中1人が咽頭もしくは直腸にSTDを持っていました
- 3人中1人が過去12ヶ月間にスクリーニングされていませんでした

**性的に活動の高いMSMにSTDのスクリーニングをしよう**

- 少なくとも、年1回は実施しましょう
- リスクが高ければ、3~6ヶ月毎に検査しましょう
- 必要時応じて、咽頭や直腸の検査をしましょう

Data from National HIV Behavioral Surveillance (NHBS) as published in Johnson Jones et. al. MMWR 2019.  
 \* Men who have sex with men  
 \*\* MSM recruited from social venues in 5 cities provided data and self-collected swabs  
 b11j/cdcva24  
 19 2019-1

WWW.CDC.GOV

MSM= Men Who Have Sex with Men (男性間性交渉者)  
 STD= Sexually Transmitted Disease(性感染症)

(Extragenital Chlamydia and Gonorrhea Among Community Venue-Attending Men Who Have Sex with Men — Five Cities, United States, 2017)  
 April 12, 2019 / 68(14);321-325

■ブラックタールヘロインを使用している人々における創傷ボツリヌス中毒のアウトブレイク-カリフォルニア州サンディエゴ郡、2017-2018年

**MMWR** | 創傷ボツリヌス中毒とブラックタールヘロイン

**ボツリヌス中毒について考えよう!**

- 垂れ下がった瞼
- 霧視もしくは複視
- 不明瞭な話し方
- 麻痺、呼吸苦

**サンディエゴ郡のボツリヌス中毒**

- 9 ボツリヌス中毒の患者
- 7 ブラックタールヘロインの使用者
- 6 皮下注射による注射
- 6 痺替
- 1 死亡

**早期の抗毒素は生命を助けます**

ボツリヌス症を疑ったら、救急施設に連絡しよう

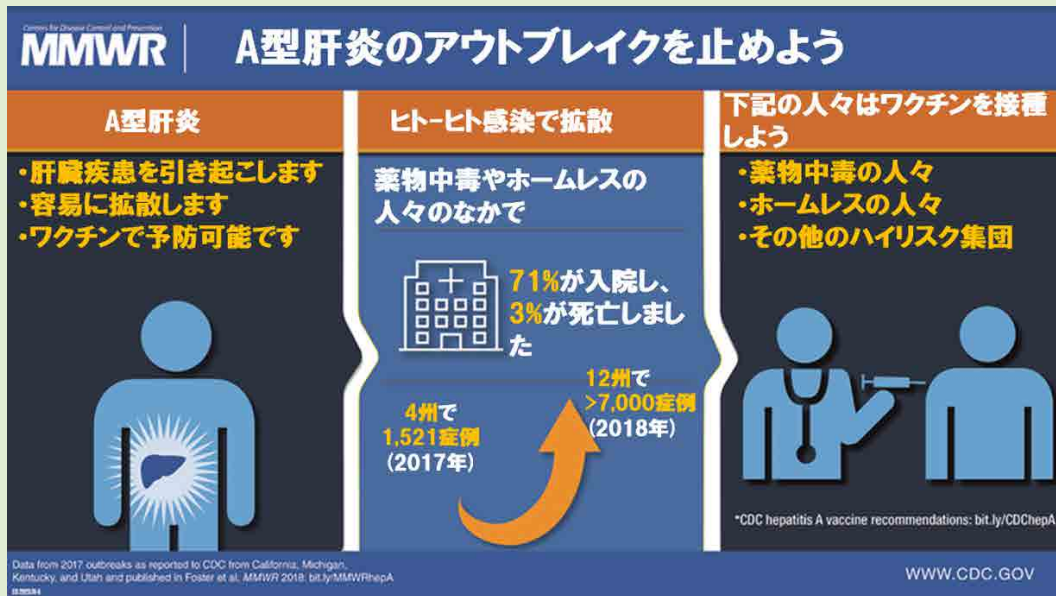
- 相談
- 抗毒素
- 検査

Outbreak data from 09/2017-05/2018 by County of San Diego Health and Human Services Agency and California Department of Public Health as published in Peak et al. MMWR 2019 b11j/cdcva20

WWW.CDC.GOV

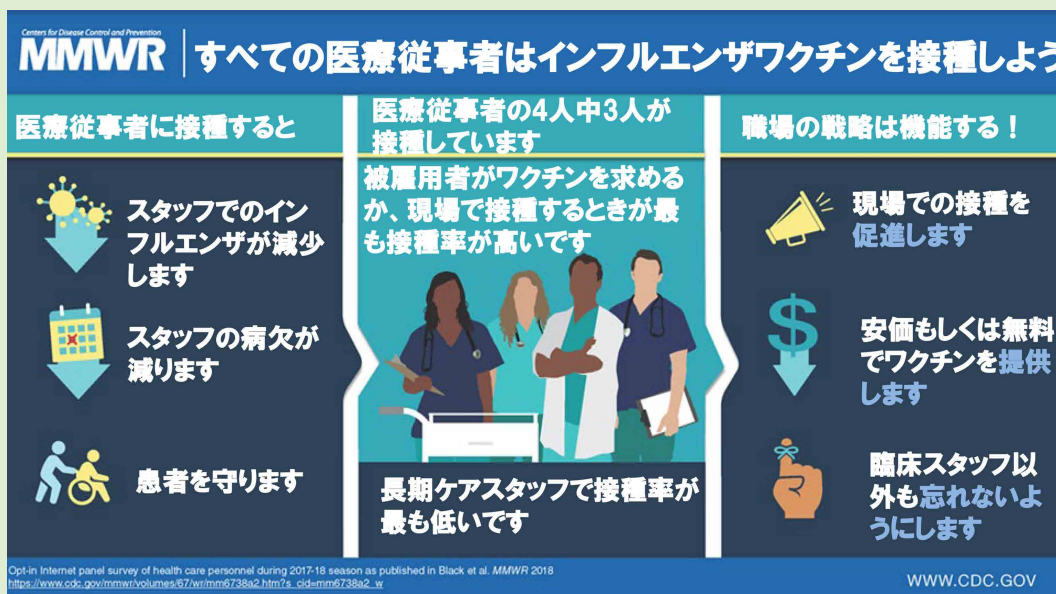
(Wound Botulism Outbreak Among Persons Who Use Black Tar Heroin — San Diego County, California, 2017-2018)  
 January 4, 2019 / 67(5152);1415-1418

■薬物使用者およびホームレスに関連したA型肝炎のアウトブレイク-カリフォルニア州、ケンタッキー州、ミシガン州、ユタ州、2017年



(Hepatitis A Virus Outbreaks Associated with Drug Use and Homelessness — California, Kentucky, Michigan, and Utah, 2017)  
November 2, 2018 / 67(43);1208-1210

■医療従事者におけるインフルエンザワクチンの接種率-米国、2017-18年インフルエンザシーズン



(Influenza Vaccination Coverage Among Health Care Personnel — United States, 2017-18 Influenza Season)  
September 28, 2018 / 67(38);1050-1054

■先天性梅毒の症例に影響する要因-ニューヨーク市、2010-2016年

MMWR | 母体の梅毒を治療して、赤ちゃんを守ろう

妊娠中の梅毒	ニューヨーク市の先天性梅毒	先天性梅毒は予防できます
<ul style="list-style-type: none"> <li>死産や幼児死亡を引き起こします</li> <li>2013～2017年に米国での先天性梅毒は2倍以上となりました</li> </ul>	<p>レビューされた68症例のうち</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>母親の2/3は、推奨通りに妊娠中にスクリーニングも治療もしていませんでした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦の最初の受診時にスクリーニングします</li> <li>リスクが高かったり、必要があれば、スクリーニングを繰り返します</li> <li>母体感染は迅速に治療します</li> </ul>

NYC DOHMH Congenital Syphilis Surveillance, 2010-2016, as published in Slutsker MMWR 2018  
 \* 2015 STD Treatment Guidelines: Syphilis During Pregnancy (b1Uj/SyphilisInPregnancy) [https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/67/wr/mm6739a3.htm?s\\_cid=mm6739a3\\_w](https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/67/wr/mm6739a3.htm?s_cid=mm6739a3_w)  
 WWW.CDC.GOV

(Factors Contributing to Congenital Syphilis Cases — New York City, 2010–2016)  
 October 5, 2018 / 67(39);1088–1093

■コンタクトレンズをして眠ることによる角膜感染症-6症例、米国、2016-2018年

MMWR | コンタクトレンズを装着したまま眠ることは危険です

コンタクトレンズを装着したまま眠ると感染症を引き起こします	患者を啓発しよう	患者の眼を守ろう
<p>眼の感染症を引き起こす危険性は6～8倍になります</p> <p>使用者の1/3がレンズを装着したまま眠っています</p>	<p>患者を啓発しよう</p> <p>コンタクトレンズに関連した眼の感染症は下記を引き起こします</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>失明</li> <li>手術</li> <li>毎時間の点眼</li> </ul>	<p>患者の眼を守ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レンズを装着したまま眠ることのリスクについて話し合おう</li> <li>レンズに関連した感染症を報告しよう</li> </ul>

Case series of 6 contact lens-related corneal infections as published in Cope MMWR 2018  
[https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/67/wr/mm6732a2.htm?s\\_cid=mm6732a2\\_w](https://www.cdc.gov/mmwr/volumes/67/wr/mm6732a2.htm?s_cid=mm6732a2_w)  
 WWW.CDC.GOV

(Corneal Infections Associated with Sleeping in Contact Lenses — Six Cases, United States, 2016–2018)  
 Weekly / August 17, 2018 / 67(32);877–881

■注射用薬物の人における侵襲性MRSA感染症-6カ所、2005-2016年



(Invasive Methicillin-Resistant *Staphylococcus aureus* Infections Among Persons Who Inject Drugs — Six Sites, 2005–2016)  
June 8, 2018 / 67(22);625–628

【文献】

1. CDC. *MMWR*. Visual Abstracts  
[https://www.cdc.gov/mmwr/MMWR\\_VisualAbstracts.html](https://www.cdc.gov/mmwr/MMWR_VisualAbstracts.html)

